



社協 鵜一地区だより

第 58 号

2023年(令和5年)5月1日

編集・発行
鵜沼第一地区社協

～「世代を超えて支え合いができるまち」を目指して!～

一年を振り返って



鵜沼第一地区
社会福祉協議会 会長

阿部 雅美

日頃より社会福祉協議会の事業ならびに活動に対し、ご理解ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

令和四年度も、非常に感染力の強いオミクロン株 B A 5 の収束が見えない中での 1 年でした。そのような中でも、「with コロナ」時代のスタートとして、県や市のガイドラインを踏まえ、その方法を工夫しながら様々な活動を行いました。

コロナのため中止となっていたボランティアハウス事業や近隣ケアグループ活動が各地で再開されました。また、ふれあい交流事業では「なるほどザふるさとの歴史発見!」地域の資源(人・歴史・文化・自然・施設)を活かした教育環境づくりという新しい企画に取り組みしました。残念ながら 12 月は雪のため中止となりましたが、他の 3 回はボランティアガイドさんの説明による新発見もでき、実りのある活動になりました。

一方、黄金を祝う会や福祉講演会については、コロナ感染者数が高止まり状態にあつたため、参加して頂く皆さまの安全・安心を第一に考え、やむを得ず中止という苦渋の判断をいたしました。

令和五年度は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが五月八日に季節性インフルエンザなどと同じ「5 類」に移行する方針が発表されました。感染症対策は「個人が主体的に選択する」ということになりました。これから少しずつ地域福祉の原点である「つながり」が深められるようになることを願っています。

最後になりますが、この 1 年間で、社会福祉活動においてお世話になった関係者の皆さまや地域の皆さまに、心より感謝申し上げますとともに、これからも地域の社会福祉活動により一層のご支援をお願いいたします。

令和4年度 鵜沼第一地区社協 年間事業報告

月	事業内容	月	事業内容
4月	事業計画案・予算案・役員名簿作成	9月	ふれあい事業第二弾(大安寺川)
	第1回委員会		市福祉フェスティバル:中止
	第1回理事会	10月	地区だより第57号発行
	友愛訪問対象者調査		校区市民運動会(協賛):中止
	暑中見舞い対象者調査		高齢者宛て年賀状対象者調査依頼
5月	地区だより第56号発行	11月	黄金を祝う会:中止
	第2回委員会		ふれあい事業第三弾(岩屋観音):中止
	総会 会費趣旨説明会	12月	高齢者宛て年賀状作成(鵜一小)
	市社協主催「近隣ケアグループ研修会」		高齢者宅年末訪問(鵜沼中)
	地区社協「近隣ケアグループ研修会」	1月	福祉講演会(地域の支え合い):中止
6月	第1回友愛訪問		第2回友愛訪問
7月	社協会費 会員募集	2月	市社協主催 会長・福祉推進員合同会議
	高齢者宛て暑中見舞葉書作成(鵜一小)		ふれあい事業第四弾(伊木山)
	ふれあい事業第一弾(明王山)		
8月	地域コミュニティ会議:中止	3月	第4回委員会(地区だより編集会議)
	第3回委員会(地区だより編集会議)		第3回理事会(地区だより認証)
	第2回理事会(地区だより認証)		会計監査

令和4年度 鵜沼第一地区社会福祉協議会 会計中間決算

(令和5年3月1日現在)

【収入の部】 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
地区社協交付金	405,000	412,000	7,000	
メニュー事業助成金	798,600	395,093	-403,507	
会費趣旨説明会	5,000	0	-5,000	
近隣ケアグループ研修会	30,000	0	-30,000	
ボランティアハウス事業	336,000	207,000	-129,000	
地域の困りごと調査	6,000	0	-6,000	中止
福祉座談会	4,000	0	-4,000	中止
福祉の人材発掘事業	20,000	0	-20,000	中止
機関紙の発行	197,600	188,093	-9,507	年2回
ふれあい事業	100,000	0	-100,000	
赤い羽根共同募金事業	100,000	0	-100,000	中止
地区社協活動推進助成金	30,000	30,000	0	
雑収入	157	8	-149	貯金利息
前年度繰越金	822,043	822,043	0	
収入合計	2,055,800	1,659,144	-396,656	

【支出の部】 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
事務費	125,000	43,699	-81,301	
会議費	60,000	7,340	-52,660	
事務費	35,000	6,359	-28,641	文具、振込手数料
地区社協活動推進助成金	30,000	30,000	0	役員実費弁償
メニュー事業費	1,133,600	408,193	-725,407	
会費趣旨説明会	5,000	3,412	-1,588	
近隣ケアグループ研修会	6,000	7,688	1,688	
ボランティアハウス事業	336,000	207,000	-129,000	
地域の困りごと調査	1,000	0	-1,000	中止
福祉座談会	4,000	0	-4,000	中止
福祉の人材発掘事業	20,000	0	-20,000	中止
機関紙の発行	197,600	188,093	-9,507	地区だよ56、57号
ふれあい事業	464,000	2,000	-462,000	歴史探・黄金中止
赤い羽根共同募金事業	100,000	0	-100,000	三世代中止
その他の事業費	103,000	104,844	-1,844	
友愛訪問事業	40,000	40,584	584	年2回
暑中見舞い、年賀状送付事業	63,000	64,260	1,260	ハガキ代(520枚)
地区団体助成金	110,000	110,000	0	
青少年育成市民会議	60,000	60,000	0	
体育振興会	50,000	50,000	0	
予備費	584,200	0	584,200	
支出合計	2,055,800	666,736	1,389,064	

【差引残高】

(収入) (支出) (残高)
収 支 1,659,144 666,736 992,408 次年度繰越金

※収支差額992,408円は次年度に繰り越します。

令和5年度 鵜沼第一地区社会福祉協議会 会計予算(案)

【収入の部】 (単位：円)

科 目	前年度予算	本年度予算	増 減	備 考
地区社協交付金	405,000	412,000	7,000	
メニュー事業助成金	798,600	798,600	0	
会費趣旨説明会	5,000	5,000	0	お茶
近隣ケアグループ研修会	30,000	30,000	0	定額助成
ボランティアハウス事業	336,000	336,000	0	実施回数による助成
地域の困りごと調査	6,000	6,000	0	@50円×120人分
福祉座談会	4,000	4,000	0	[黄金]反省会、お茶
福祉の人材発掘事業	20,000	20,000	0	福祉講演会、お茶
機関紙の発行	197,600	197,600	0	[鵜一だよ]年2回
ふれあい事業	100,000	100,000	0	地域探訪・黄金
赤い羽根共同募金事業	100,000	100,000	0	三世代交流事業
地区社協活動推進助成金	30,000	30,000	0	役員実費弁償
雑収入	157	357	200	貯金利息等
前年度繰越金	822,043	822,043	-	
収入合計	2,055,800	2,063,000	7,200	

【支出の部】 (単位：円)

科 目	前年度予算	本年度予算	増 減	備 考
事務費	125,000	125,000	0	
会議費	60,000	60,000	0	
事務費	35,000	35,000	0	文具、振込手数料
地区社協活動推進助成金	30,000	30,000	0	役員実費弁償
メニュー事業費	1,133,600	1,133,600	0	
会費趣旨説明会	5,000	8,000	3,000	お茶、(総会)
近隣ケアグループ研修会	6,000	8,000	2,000	お茶
ボランティアハウス事業	336,000	336,000	0	実施回数に助成
地域の困りごと調査	1,000	1,000	0	アンケート調査
福祉座談会	4,000	4,000	0	お茶、[黄金]反省会
福祉の人材発掘事業	20,000	20,000	0	福祉講演会
機関紙の発行	197,600	197,600	0	58号・59号
ふれあい事業	464,000	464,000	0	地域探訪・黄金
赤い羽根共同募金事業	100,000	100,000	0	三世代交流事業
その他の事業費	103,000	105,000	2,000	
友愛訪問事業	40,000	40,000	0	2回、対象者約30名
暑中見舞い、年賀状送付事業	63,000	65,000	2,000	63円×500枚×2回
地区団体助成金	110,000	110,000	0	
青少年育成市民会議	60,000	60,000	0	
体育振興会	50,000	50,000	0	
予備費	584,200	589,400	5,200	
支出合計	2,055,800	2,063,000	7,200	



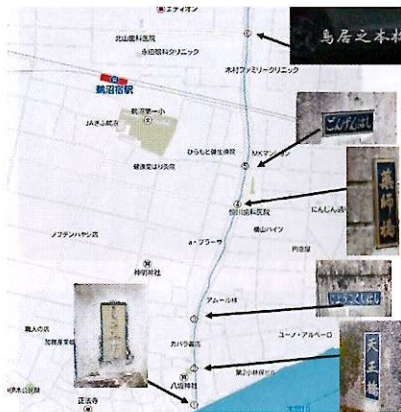
社協会費が使われています

ふれあい活動第2弾「500年前の大安寺川」

9月24日(土) 快晴

地域の資源(人・歴史・文化・自然・施設)を活かした教育環境づくり

<新企画> なるほどザふるさとの自然や歴史発見!



中山道 大安寺川大橋

- ⑥とりのもとはし
- ⑤ごんげんはし
- ④やくしはし
- ③じょうこくじはし
- ②てんのうはし
- ①しろみはし

大安寺川に架かる橋

2022.9 ARE



今回の鵜沼宿ボランティアガイドは、松尾さんでした。

江戸中期頃まで、大安寺川は、現在の鵜一小から、古市場・小伊木への通学路の下を流れる用水路の筋道を流れていました。60代以上の方々には、小川となったその旧大安寺川に笹舟を流しながら帰った経験があります。その川筋から、西を観ると、川岸を物語るように、土地が何メートルか高くなっていることがわかります。記録によると、大安寺川が現在の川筋になったのは、江戸時代中期頃、洪水を防ぐために、川底を掘り下げてからのようです。



現在でも、旧大安寺川は、JRと名鉄の線路の下をくぐり現存し(左写真の中央)、下流域の水田に水を供給しています。



松尾ガイドさんから、名古屋城に端を発した犬山街道の延長として、鵜沼宿につながる街道(稲置:いなぎ街道)を教えてくださいました。南町の真ん中を通り、確かに、鵜沼宿までつながっていました。



ふれあい活動第4弾「伊木清兵衛&播隆上人」

2月25日(土) 快晴

今回の鵜沼宿ボランティアガイドは、板鼻さん。総勢19名での実施になりました。メンバー構成は、大学生・主婦・夫婦・市議員・民生委員など、様々な方々のご参加を得ました。市民プールの駐車場に集合し、しっかり準備運動後、(ためきの小径)から、伊木山(173m)に入りました。

まずは、伊木山の東のピークから、わが故郷を一望。



山頂では、砦の概要を聞き、残っている当時の砦の基礎の一部を見学しました。尾根を西に歩き、伊木城の城主であった伊木忠次公が、建立した熊野神社跡を見学した後、



下山し、現在の熊野神社に参拝し、伊吹山の絶景を楽しみました。参道口にある大伊木の方々が建立した忠次公の碑に感銘しました。

もう一人、伊木山の歴史を語るには欠かせないのが、江戸末期の苦行僧。槍ヶ岳開山の播隆上人です。上人は、長らく伊木山で修行し、大伊木の民に人の道を説きました。その教えは、近年まで、(女人講)として、引き継がれて来ました。



〈播隆上人〉

